



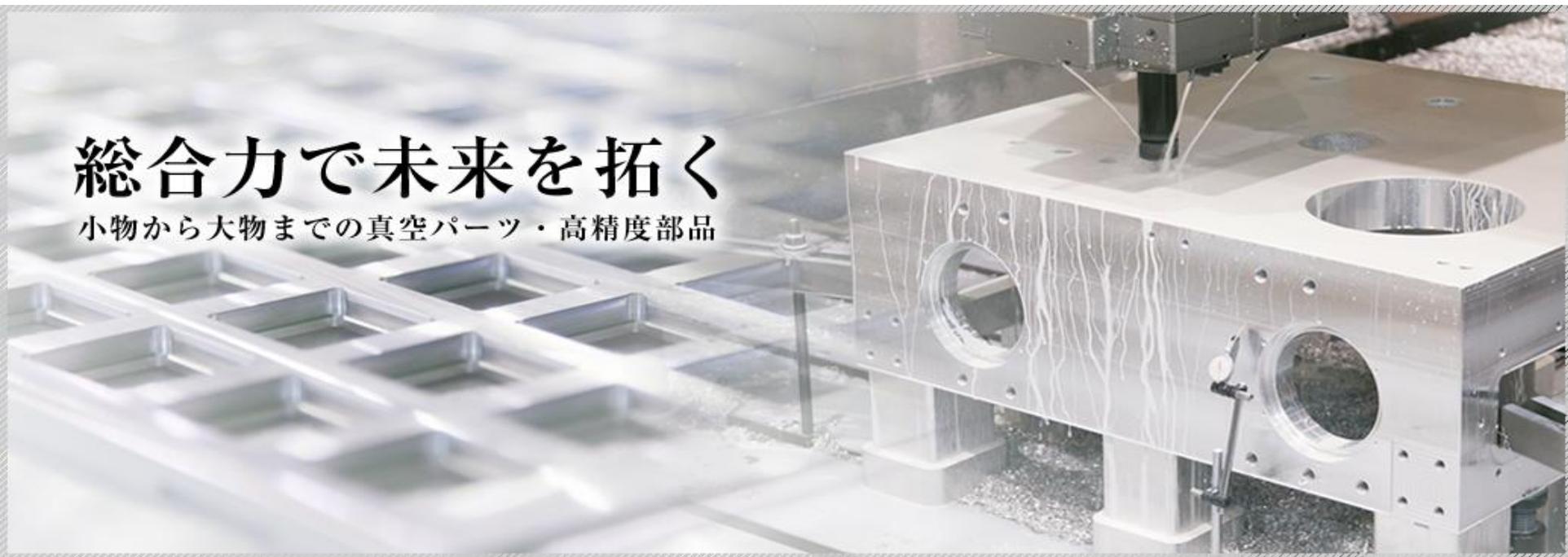
東証マザーズ(TSE Mothers):6264

**株式会社マルマエ**  
**平成29年8月期 第3四半期決算 補足資料**

平成29年6月30日

**総合力で未来を拓く**

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



## PL分析

PL

	平成28年8月期 第3四半期累計期間		平成29年8月期 第3四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	1,532	—	2,523	—	64.7
受注残高	367	—	859	—	133.9
売上高	1,635	100.0	2,063	100.0	26.1
売上原価	1,082	66.2	1,339	64.9	23.7
売上総利益	553	33.8	724	35.1	30.9
販売管理費	195	11.9	241	11.7	23.9
営業利益	357	21.9	482	23.4	34.7
経常利益	335	20.5	469	22.8	40.1
特別損益	92	5.6	1	0.1	△97.9
当期純利益	281	17.2	329	16.0	17.1
EPS (円)	26.70	—	31.25	—	17.1
EBITDA	470	28.8	631	—	34.2

Point

### ①受注状況

- 半導体分野：1,846百万円  
(対前年同期：111.6%増)
- FPD分野：646百万円  
(対前年同期：0.2%減)
- その他分野：30百万円  
(対前年同期：155.1%増)

### ②売上高

- 対前年同期26.1%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

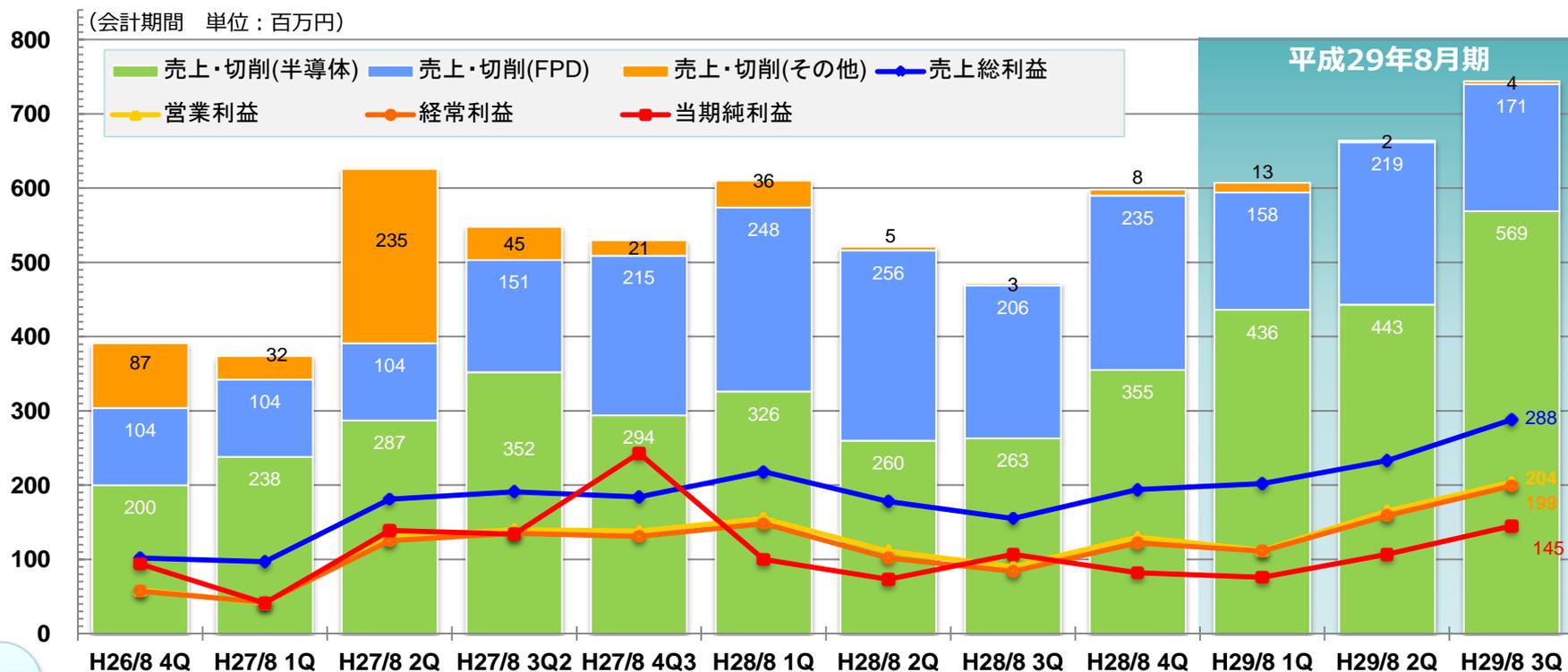
### ③売上原価・売上総利益

- 材料費：118百万円増  
(対前年同期：47.3%増)
- 労務費：66百万円増  
(対前年同期：17.6%増)
- 外注加工費：112百万円増  
(対前年同期：61.1%増)
- 減価償却費：37百万円増  
(対前年同期：34.5%増)

### ④営業利益

- 販管人件費：20百万円増
- 研究開発費：9百万円増

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、半導体分野が牽引（数値は累計期間）

■半導体分野：1,449百万円（対前年同期：70.5%増）

- ・需要拡大に合わせた追加投資による生産設備増強と流動的人材の確保で生産体制強化し、売上高拡大

■FPD分野：550百万円（対前年同期：22.8%減）

- ・有機ELと第10.5世代向けの受注が再拡大

■その他分野：20百万円（対前年同期：55.7%減）

### ②損益面は生産体制強化の進行による製造原価の増加

- ・急拡大する需要に備えるための生産設備増強による減価償却費の増加
- ・積極的な人材採用による労務費の増加
- ・売上高増加により材料費と外注加工費も増加

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1.決算概要



## B/S分析

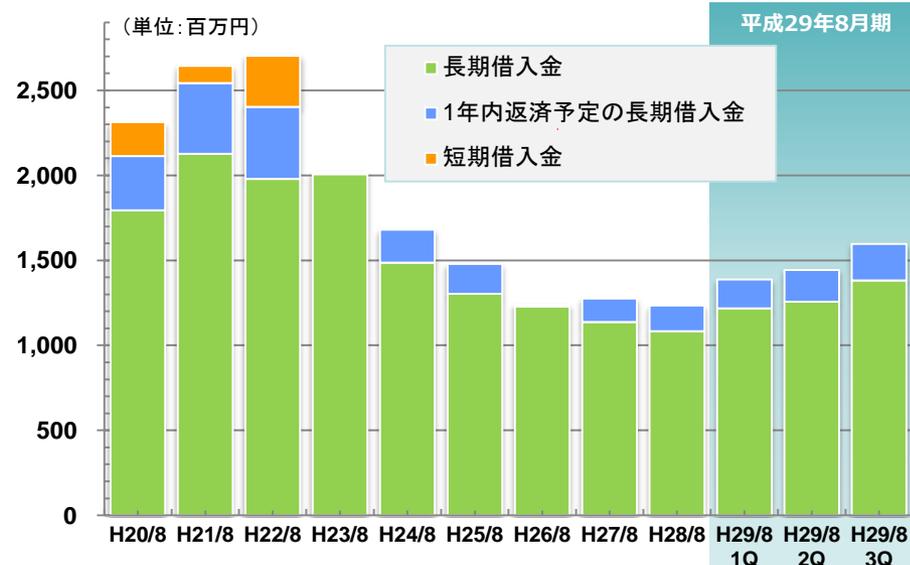
B/S

(単位：百万円)	平成28年8月期 会計年度末	平成29年8月期 第3四半期末
流動資産	1,415	1,774
現金及び預金	513	669
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	699	792
たな卸資産	163	274
固定資産	1,154	1,460
建物・土地	632	725
機械及び装置	480	643
流動負債	484	607
有利子負債（短期）※	150	214
固定負債	1,106	1,404
長期借入金	1,084	1,382
負債合計	1,590	2,011
純資産合計	978	1,223
総資産	2,569	3,234

※ 有利子負債（短期）：短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金

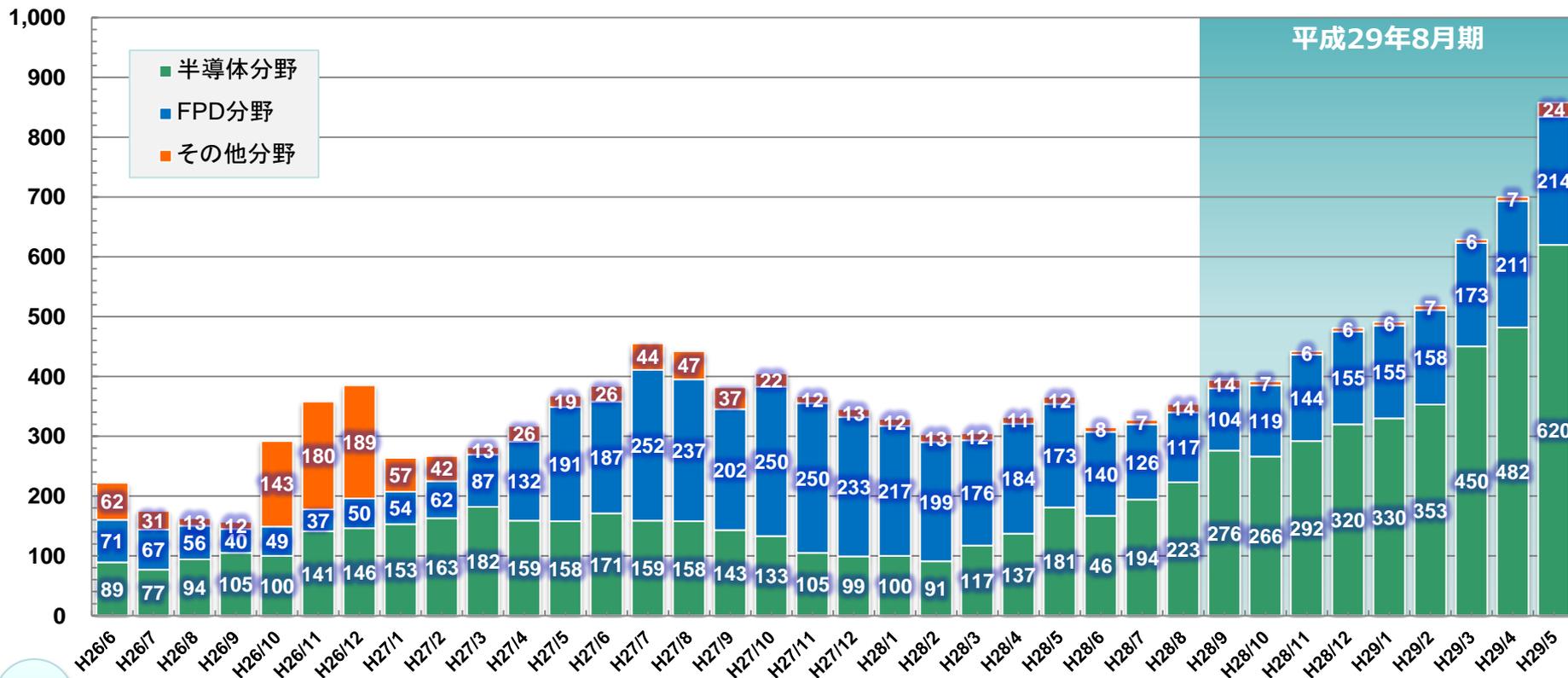
Point

- ① **資産：3,234百万円(前期末比:665百万円増加)**
  - 現金及び預金：155百万円増加
  - 有形固定資産：286百万円増加
  - たな卸資産：110百万円増加
- ② **負債：2,011百万円(前期末比:420百万円増加)**
  - 支払手形及び買掛金：45百万円増加
  - 1年以内返済予定長期借入金：64百万円増加
  - 未払法人税等：38百万円増加
  - 長期借入金：298百万円増加
- ③ **純資産：1,223百万円(前期末比:244百万円増加)**
  - 利益剰余金：244百万円増加
  - 自己資本比率：38.1%→37.8%



## 月次受注残高の推移

(単位:百万円)



Point

- 半導体分野では、市場環境が好調に推移、生産能力拡大で高水準な受注が続く見通し。中期的にも市場拡大。
- FPD分野は、特に第10.5世代大型パネル向けの需要が拡大する見通し。
- その他分野は、主だった動きはなし。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)

# 3.平成29年8月期の業績予想

## 今期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

業績  
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成29年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
通期	2,840	680	660	450	42.71
前期実績 (平成28年8月期)	2,242	488	458	363	34.50

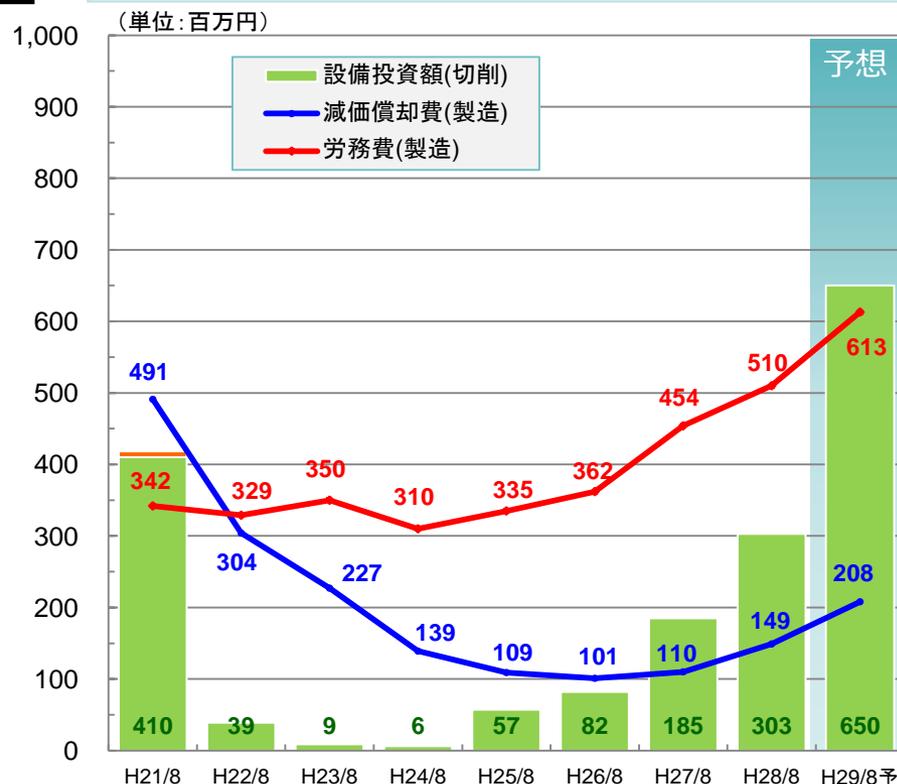
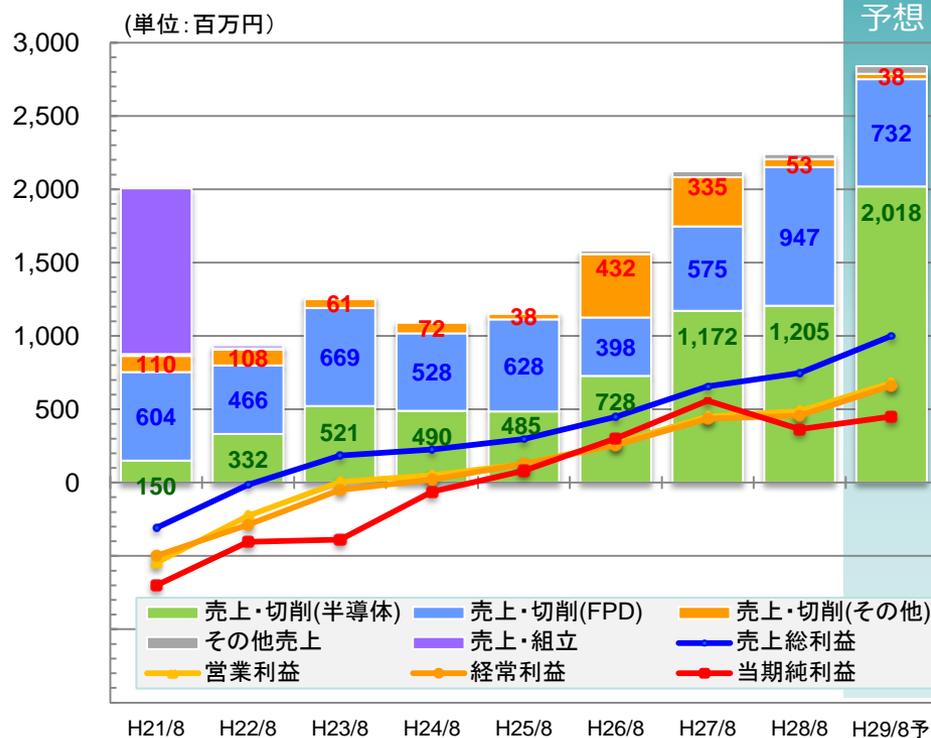
Point

### 業績予想の修正（H29年5月11日開示）

- ・半導体分野とFPD分野で当初想定以上の受注
- ・受注対応のため設備投資と人員採用に注力

### 配当予想の修正（H29年6月30日開示）

- ・期末配当：4円→6円 配当性向：23.4%



## 新中期事業計画の状況

### 中期事業計画

### 中期事業計画の進捗

事業分野	目標	進捗等
既存事業	半導体分野の伸長 生産性向上	半導体活況に合わせて設備投資拡大。新大型工場も検討。
M & A	中小を中心にシナジー有り 又は半導体のリスクヘッジ	中断し、自社の設備投資を優先する方針。
新分野	作業補助・介護ロボット等	試験に向け新試作機の製造中。
市場変更	期間中に東証一部を目指す	形式基準整うも進捗に遅れ。
株主還元	配当性向35%以上へ向上	増配も、設備投資を優先し25%前後にとどめる方針へ修正。



# Company Profile

企業情報

## 当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

**主要工程**

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

**主要製品**

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

## 総合力で未来を拓く～真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー～

<b>会社名</b>	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)	<b>発行済株式総数</b>	5,596,200株
<b>設立</b>	昭和63年10月	<b>単元株式数</b>	100株
<b>資本金</b>	1億3585万円 (平成29年5月31日現在)	<b>株主総数</b>	2,875名
<b>役員</b>	代表取締役社長 前田 俊一 専務取締役 山元 弘 取締役 (監査等委員) 兒島 吉二 取締役 海崎 功太 取締役 (監査等委員) 寺畑 幸雄 取締役 藤山 敏久 取締役 (監査等委員) 梶 智和	<b>大株主 (普通株式)</b>	前田 俊一 2,408,200株 GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL 321,500株 前田 美佐子 252,000株 日本トラスティ・サービス信託銀行 170,800株 資産管理サービス信託銀行 101,500株 川本 嘉世子 91,500株 MSIP CLIENT SECURITIES 90,500株 前田 良子 90,000株 五十嵐 光栄 84,000株 マルマエ共栄会 75,500株 (注) 上記のほか、自己株式が328,382株あります。 (平成29年2月28日現在)
<b>従業員数</b>	153名 うち 臨時雇用者等67名 (平成29年5月31日現在)		
<b>所在地</b>	本社 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械・精密機器の設計・製造・加工</li> <li>・精密機械部品の設計および製作</li> <li>・溶接部品の設計製造</li> <li>・運送業務</li> <li>・ソフトウェア開発</li> </ul>		
<b>経営理念</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.技術は究極を目指し</li> <li>2.競争と協調を尊び</li> <li>3.技術注力企業として社会に貢献する</li> </ol> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>		

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先  
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863